

医療ツーリズム推進のための愛知県の取組

- 愛知県では、今年度、愛知の優れた医療技術を外国人の方に提供し、医療の国際化を推進するため、「**あいち医療ツーリズム研究会**」を立ち上げ。
 - ・ 県内の4つの大学病院や愛知県医師会をはじめとした医療関係者が参画。
 - ・ 医療ツーリズム実施における課題の抽出や規制緩和を含む解決策の検討などを行う。

外国人患者受入れに係る現状と課題（一例）

医療現場での実際の経験を踏まえた具体的ニーズ

- 海外での対応が難しく、できるだけ早期に日本で治療する必要がある場合において、入国のために必要な書類の準備や、**ビザ発給のための審査期間などで時間を要し、治療の開始が遅れ、病気が進行してしまう**恐れがある。
 - ・ ビザの申請から発給までに必要な期間は、原則として、申請受理の翌日から起算して5業務日（概ね1週間）。
 - ・ その他、査証事務処理の具体的手続きは、外務大臣の在外公館に対する訓令・通達（査証事務処理規則等）に基づく、とされている。（ただし、査証事務処理規則等は非公表扱い）
- ⇒ **国際的な医療協力を推進**するため、海外からのニーズが高く、日本が国際的優位性を有する医療分野について、**日本の医療を迅速に提供する機会の拡大**が必要。

必要な規制緩和のイメージ

できるだけ早期に治療が必要な外国人患者の医療滞在ビザ発給の迅速化

- ⇒ 医療滞在ビザにつき、一定の条件を満たした場合には、申請書類の簡素化や最優先審査等により、申請から発給までの期間を大幅に短縮する（できれば即日発給）。

(参考) ビザ (査証) 申請から取得までの流れ

